

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.269

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）  
第6回「原価管理と財務評価の基本」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、その第6回目として「原価管理と財務評価の基本」を開催しました。

- 日 時 : 令和6年11月14日(木) 13時30分~15時30分
- 場 所 : Web形式
- 参加者 : 89社/370名

The image displays six slides from a presentation titled "原価管理と財務評価の基本" (Basic of Cost Management and Financial Evaluation). The slides are as follows:

- Slide 1 (Top Left):** Introduction to the course. Title: "第1章：原価の種類と原価計算". It lists the course structure: Chapter 1: Types of costs and cost calculation; Chapter 2: Cost structure and improvement methods; Chapter 3: Perspectives on financial statements; Chapter 4: Investment evaluation.
- Slide 2 (Top Right):** Chapter 1: Types of costs and cost calculation. It asks "利益を増やすには?" (How to increase profit?) and suggests "販売価格を上げる" (Increase selling price) and "原価を下げるしかない!" (Only way is to reduce costs!). It shows a bar chart of costs: 製造原価 (Manufacturing cost) = 販売費 (Selling expense) + 営業外費用 (Non-operating expense). It lists "工場に掛かるお金" (Money spent in the factory) including: 作業員の人件費 (Labor cost), 間接スタッフの人件費 (Indirect staff labor cost), 製品の材料費 (Material cost), 電気代等のエネルギー費 (Energy cost), 設備の償却費 (Depreciation), and 働く建物の費用 (Facility cost).
- Slide 3 (Middle Left):** Chapter 1: Types of costs and cost calculation. It explains "原価計算とは" (What is cost calculation?) as calculating costs for products/services. It lists 5 purposes, including "販売価格の決定" (Price determination). It shows a graph where "見積原価" (Estimated cost) is higher than "実際原価" (Actual cost), leading to lower profit.
- Slide 4 (Middle Right):** Chapter 2: Cost structure and improvement methods. It lists "原価管理のステップ" (Steps for cost management) and "原価管理とは" (What is cost management?). It states: "原価の標準(標準原価)を設定してこれを指示し、原価の実際の発生額を計算記録し、これを標準と比較して、その差異の原因を分析し、これに関する資料を経営管理者に報告し、原価能率を増進する措置を講ずること" (Set standard cost, instruct, calculate actual, compare, analyze, report, improve). It concludes: "1 製品あたりの製造原価を算出し、標準原価と実績を比較して問題点を分析し、改善策を立てて実行する" (Calculate manufacturing cost per product, compare with standard and actual, analyze issues, implement improvements).
- Slide 5 (Bottom Left):** Chapter 3: Perspectives on financial statements. It focuses on "損益分岐点" (Break-even point) and "原価構造の可視化" (Visualization of cost structure). It states: "製品別の利益・原価構造は企業活動の羅針盤!" (Product-specific profit/cost structure is the compass of corporate activity!). It shows a bar chart of costs: 売上高 (Sales), 変動費 (Variable cost), 直接固定費 (Direct fixed cost), 間接 (Indirect), 製造原価 (Manufacturing cost). It provides the formula:  $\text{限界利益} = \text{売上} - \text{変動費}$  (Contribution margin = Sales - Variable cost).
- Slide 6 (Bottom Right):** Chapter 3: Perspectives on financial statements. It focuses on "損益分岐点" (Break-even point) and "損益分岐点図表" (Break-even chart). It shows a graph with "売上高" (Sales), "変動費" (Variable cost), "固定費" (Fixed cost), and "利益" (Profit). It identifies the "損益分岐点" (Break-even point) where sales equal total costs. It notes: "損益分岐点を分析すると、利益を出すために必要な売上高と、固定費および変動費の改善点が見えてくる" (Analyzing break-even point reveals necessary sales and improvement points for fixed and variable costs).

## 【参加者の声】

- ・原価の性質を正しく理解し、適切な判断を行う必要があることを学ぶことができた。標準原価をしっかりと把握することで、問題点の抽出・分析・改善を行うことの重要性も理解でき、原価の本質を見極める力が、企業の競争力を高める源泉であることを講義を通じて改めて感じることができた。
- ・目標原価を設定し、設計活動後に目標原価と見積原価との差異分析（発注先・発注単位・部品選定など）をしっかりと行い、より安全に、より早く、より安く最適な発注をすることを意識し、戦略的に改善を継続していくことが重要だと改めて感じた。また、設計の段階で、よりコストダウンを狙える方法を検討していく（精度を求めない部品か・標準材料を使用するなど）ことで、さらなる原価低減に繋がりたいと思った。
- ・弊社の原価の考え方と比較することでイメージを持ちながら話を聞くことができた。原価に関する考え方を一から整理し直すとともに、新たな考え方にも触れることができ、原価に関する見識がさらに広がった。普段はあまり触れる機会の少ない、財務に関する知識も身に着けることができとても参考になった。
- ・企業が利益を増やすためには原価低減が一番であること、また、原価管理は、材料費等を積み重ねて計算することではないとわかった。設定した標準原価と実際原価の差異を分析し、標準原価を引き下げするため、ムダや非効率を見つけて改善することが、原価管理の手順だと理解できた。説明内容は非常にわかりやすく、実際の業務にも活かせると感じた。
- ・基本的なことはすべて理解でき、管理会計を基準に損益分岐点管理なども実施できているが、標準原価を選定することは概算でしかできておらず、実際原価管理での評価しかできていないことを改めて反省した。今後は、スタート時点での標準原価計算から原価低減活動まで一貫して進めていけるような組織にしていきたい。
- ・原価について、いろいろなことがわかった。原価を把握することで仕事の目標もわかりやすくなることが理解できた。
- ・原価管理を取り組む上でなかなか基本的なことを解説した資料が乏しい状況だった。本講義においては細かな（ほしい）情報を得られることができ、参考になった。
- ・原価に対する考え方、特に原価管理と原価計算の違いやそれぞれの目的、工程について詳しく知ることができ勉強になった。これからの業務の中でも、原価の仕組みや弊社での取り組みなどを意識して着目していきたいと思った。
- ・原価管理の内容の説明に具体例を挙げて説明があり、わかりやすかった。現場改善の結果が利益を生み出すという流れがよくわかった。また、原価管理の説明だけでなく、改善手法について触れている点もよかった。
- ・原価計算時に使われている用語の正しい意味や、使い分けを知ることができ、原価計算の重要性を理解できた。原価、財務に関して、学ぶ機会というのは今までなかったため。基本的な事柄について、改めて理解を深めることができ、上流工程で仕事を進めるうえで、原価をつくりこめるよう生かしていきたい。基本的な説明資料がまとまっているため、自身で振り替える際や若手に説明する際に使用できると感じた。
- ・ものづくりをするうえで、原価管理を知ることが重要であり、その点について参考になった。原価管理は、企画開発からアフターサービスまでを考え、その後の原価改善が重要だということを学べた。
- ・原価の目的、種類など今まで意識していなかったことを学んだ。原価管理とは標準原価、製造原価の比較、分析、改善の繰り返しを行うことで、標準原価の設定や改善のターゲット等が参考になった。